

長野上水内教育会に集い、共に学び、つながろう ～いいじゃん！教育会！～

一般社団法人 長野上水内教育会長 早川孝一

コロナ下において加速した GAGA スクール構想により、一人一台端末が導入され、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」に向けた授業改善が求められています。一方、児童生徒はますます多様化し、特別支援教育のあり方や不登校児童生徒への対応が喫緊の課題となっています。そのような状況の中、学校や先生方は様々な課題に真摯に向き合い努力を重ねていただいています。しかし、目の前の課題に一心に向き合うあまり、個人や自校のみで抱え込みがちになることはないでしょうか。そうした状況が続くと、先生方が他と分断されて孤立してしまうのではないかと危惧します。「人は人の中で育つ」ことを思うとき、先生と子どもの温かな人間的な交流が重要です。その意味で、教職員が人間的に成長するために自ら学び続けることの大切さは、今まで以上ではないでしょうか。

教育会は、先輩の皆さんが創設した教職員が共に学ぶ貴重な仕組みです。長野上水内教育会では、コロナ下においても先生方の学びを止めず、先生方がつながりあって、互いに磨き合い、協力し合い、助け合いながら教職員として成長していくことに寄与し続けてきました。その熱い思いを受け継ぎ、本年度も、「自ら求め 人を知り 人とつながり 学び続ける」を合言葉に各事業を運営してまいります。教育会には、総集会、研究委員会、研究視察補助、夏季大学、教育懇談会とたくさんの魅力ある事業が用意されています。昨年度から長野市教育委員会と長野上水内教育会との共同研究として進めている7委員会を含め、研究委員会の更なる継続・発展を図ります。研究助成事業では、個人研修、グループ研修、個人・グループ視察に補助をします。これらに加え、グローバルな視野を持った教員の育成を図るため、ニュージーランドに4名の先生方を派遣します。ホームステイや現地の学校での授業実践等を通じ、見識を広めていただきその成果を還元していただきます。

夏季大学は、座学で作家・詩の道化師 ドリアン助川先生、大阪多様性ネットワーク共同代表土田光子先生、青山学院大学教授福岡伸一先生の3講座に加え、長年臨地講習でお世話になりました長野市立博物館協議会会長 宮下健司先生による30回記念講演を予定しています。臨地講習では、長野県立美術館、黒姫、戸隠、松代、野尻湖の5方面に出かけます。さらに、2学期から3学期にかけて冬季大学として同好会等の講演会や研修会が行われます。

このように、時代を先取りし、アグレッシブな長野上水内教育会に、一人でも多くの方が集い、教師の自主的研修と、教師同士の熱いつながりの輪を広げていただければと願います。会員一人ひとりが教育会の活動に主体的に参加・参画し、自己研鑽を深め、共に磨き合うことにより、「自律した学習者の育成～学びのその先へ～」の具現が図れるものと思います。とはいうものの、私自身、正直言ってこれまで教育会の活動に積極的だったかという点、必ずしも YES とは言えない部分があります。しかし、昨年度、はじめて夏季大学のすべての講座に出させていただき、自分自身がとても豊かになる、そんな実感を得られる機会となりました。そして、このような機会が与えられていたのに、活かすことができないまま過ごしてきた教員人生を「もったいないことをした」と強く後悔しました。同じ後悔を皆さんにはしてほしくない、そう強く願っています。「いいじゃん！教育会！」みなさん、長野上水内教育会に集い、共に学び、そしてつながりましょう。